

広報

つちうら

Tsuchiura Public Relations



新年明けまして

おめでとうございませう

平成28年の初春を市民の皆さまと共に迎えられます慶びをかみしめております。

さて、昨年は、戦後70年という大きな節目の年でありました。少子高齢化、国際化、高度情報化、日本を取り巻く巻く安全保障の問題、そして地球規模での環境問題など、大きな波が打ち寄せ、まさに内憂外患、変革を求められた一年でありました。そのような中、本市においては、旧真鍋町と旧土浦町が合併し、県内3番目の市制が誕生してから75年という節目の年を迎え、更なる80年、100年に向けて、さまざまな事業を展開してまいりました。3月には常磐線の東京・品川駅乗り入れが実現し、52年振りに市庁舎を土浦駅前に移転したことをはじめ、新たな消防庁舎、市営斎場、水郷プール、図書館など、本市発展の根幹となる社会資本整備を重点的に進めています。

本年は、新しい土浦市の姿が見え始めてくる、大変重要な時期を迎えることから、将来への更なる飛躍に向けて、本市の歴史に刻まれる事業をしっかりと成し遂げていかねばなりません。引き続き、「日本一住みやすいまち土浦」の実現に向け、次の5つの基本政策に基づき、計画的、戦略性の高い持続可能な行政運営に取り組んでまいります。①にぎわいのあるまちづくり、②心豊かな教育・文化のまちづくり、③安心・安全なまちづくり、④ふれあいとあたたかいまちづくり、⑤環境を重視するまちづくり。私はこれまでも、「行財政改革の推進」と「市民との協働のまちづくり」を2つの柱とし、市政運営に一貫して取り組んでまいりましたが、これら5つのまちづくりを進めるためには、今後も継続して手を緩めることなく、市民の皆さまと行政が一体となった取り組みが必要不可欠です。

本市の新たな発展への針路をしっかりと見据えながら、この一年が更なる飛躍の年となるよう、これらの政策を全身全霊で推進してまいります。結びに、本年が、市民の皆さまにとりまして、素晴らしい一年でありますことを心から祈念し、新年の挨拶といたします。

土浦市長 中川 清